

このたびは、入力マトリックスユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
機器の接続は、EL-3000シリーズの工事説明書をお読みください。

目次

安全上のご注意	1~2	③各ユニット間のケーブル接続	8~10
設置・使用上のご注意	3	④増設出力端子盤ユニット(RJB-3220)の スピーカー回線の系統分け	11
免責事項について	3	⑤非常業務操作ユニット(REE-3520) でのプログラムの書込み設定	12~13
本機を長期間お使いの場合は 特にご注意を	3	音声信号のレベル調整と感度切替のしかた	14
特長	4	外観寸法図	15
各部の名称と説明	4	定格・付属品	15
使用方法	5	付図(1)~(4)	16~19
設置のしかた		連絡先のご案内/保証書	20
①ディップスイッチの設定変更	6~7		
②ラックへの取付け	7		

安全上のご注意

必ずお守りください

- 設置工事の前に必ず、この「安全上のご注意」と工事、取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しく設置してください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。左図の場合は一般的な行為を指示する表示です。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がある、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに制御電源ユニットのブレーカーをOFFにし、販売店または工事店にご連絡ください。



工事は工事店に依頼する

工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。



分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。点検および配線時以外にこの機器の裏ぶた、カバーなどは絶対に外さないでください。内部の点検・整備・修理は保守契約店または工事店にご依頼ください。



間隔をおいて設置する

内部に熱がこもり火災の原因となります。また、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、すきまをあけてください。



異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに分電盤の電源を切って、保守契約店または工事店にご連絡ください。



この機器の上に花瓶など水の入ったものを置かない

こぼれたり中に水が入った場合、火災・感電の原因となります。



定期的に点検をする

非常時に作動しないと、火災や災害を拡大する原因となります。点検は保守契約店または工事店にご依頼ください。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。



不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



重量に耐える場所に取り付け、設置をする

取付場所の強度が不十分なとき、転倒等により、けがや破損の原因となることがあります。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



コード類を傷つけない

コード類の上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりすると、火災・感電の原因となります。コード類が傷んだら(芯線の露出、断線)販売店などに交換をご依頼ください。



機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読みください。機器の接続は保守契約店または工事店にご依頼ください。



設置・使用上のご注意

- EIAラックに組み込む場合は、本機と電力アンプの間には必ず、1U以上の間隔を開けてください。
別売の換気パネル RIB-1F(別売品)を取り付けることをおすすめします。
- 次のような場所では使用しないでください。誤動作、故障、漏電の原因になります。
・ 使用湿度範囲をこえる85%以上の場所／屋外などの雨や日光に直接当たる場所／結露が生じる場所／激しい振動や衝撃が発生する場所
- 本機を雑音発生の原因になる機器※の近くには設置しないでください。
※ 高周波機器(乾燥機、医療機器など)、電気溶接機、ブラッシングモーター、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器(コンピューター、電子楽器など)、空気清浄器。

遮断装置について

- 本機には電源スイッチがありませんので、制御電源ユニットのブレーカーが遮断装置になります。
異常が起きた時は、ただちに使用をやめ、制御電源ユニットのブレーカーをOFFにし、販売店または工事店にご連絡ください。

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- ① お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など
- ② 本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
- ③ 本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害
- ④ 本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

本機を長期間お使いの場合は

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。

外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があります。故障したり、事故の原因となることがあります。下記①～④の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちに電源を切り(使用中止)、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。

特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。

- ① 煙が出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。
- ② 電源コード・電源プラグが異常に熱い。または亀裂や傷がある。
- ③ 本機に触れるとビリビリと電気を感じる。
- ④ 電源を入れても音が出てこない、その他の異常・故障がある。

特にご注意を

■必ずアースを取り付けて使用してください。

感電事故防止のため、アース端子と組み込む装置のアース端子とを接続し、大地間に必ずアースを取ってください。

■内部の改造は絶対にしないでください。

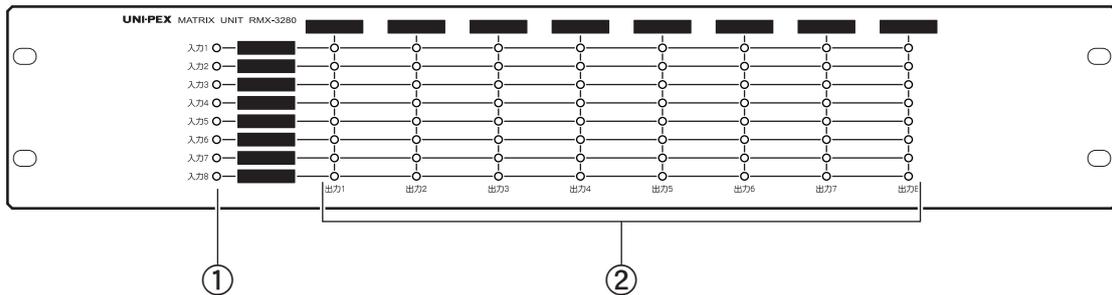
■接続機器のコードは正しく接続し、抜くときにはプラグを持って抜き取るようにしてください。コードを引っ張ると断線する恐れがあります。

特 長

- 非常用放送設備EL3000シリーズと組み合わせて使用し、多元放送するためのユニットです。
- 本機1台で入力8系統を、あらかじめ設定された内容に従って8系統に出力できます。
- 本機は最大4台まで連結して使用することができ、16入力16出力まで拡張することができます。
- 同一出力を選択したときの各入力間の優先は、入力回路順優先(入力回路番号の少ない方が優先)または後取り優先のいずれかの設定ができます。

各部の名称と説明

前面



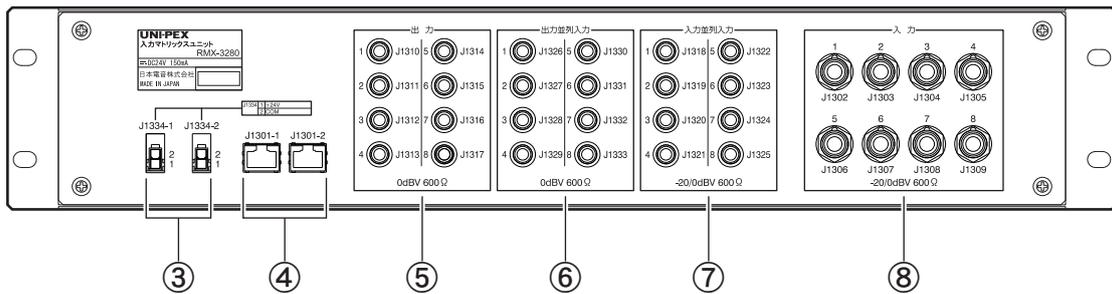
① 音声入力表示灯

- ・ 接続している機器から音声が入力されると点灯します。

② 制御動作表示灯

- ・ マトリックス制御しているとき制御されているポイントが点灯します。

後面



③ 電源コネクタ

- ・ 電源DC24Vの入力コネクタです。

④ 通信コネクタ

- ・ 制御データを送受信するためのコネクタです。

⑤ 音声出力端子

- ・ 本機の音声信号を電力増幅ユニットに出力します。

⑥ 出力並列入力端子

- ・ 入力マトリクスユニットを連結して使用するときの出力カスケード接続用端子です。

⑦ 入力並列入力端子

- ・ 入力マトリクスユニットを連結して使用するときの入力カスケード接続用端子です。

⑧ 音声入力端子

- ・ 接続する機器からの音声信号を入力します。

使用方法

放送先

マトリックス制御内容(放送先の設定等)は、非常業務操作ユニットで書込設定した内容に従って放送先に放送されます。

起 動

制御起動信号(メイク信号)が基本制御端子盤ユニット(RJK-3300)、増設制御端子盤ユニット(RJB-3220)の制御入力に入っている間および本体で手動選択されている間動作し、制御されたポイントの“動作表示灯”が点灯します。

音 声

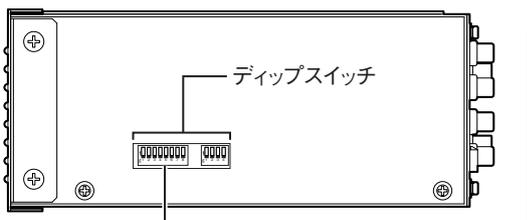
接続された機器から音声が入ると、入っている間音声入力表示灯が点灯します。上記起動 がかかると選択された系統に音声が出力されます。

設置のしかた

非常用放送設備EL3000シリーズに組み込んで設置する場合は、次の手順で行ってください。

- ①ディップスイッチの設定変更
- ②ラックへの取り付け
- ③各ユニット間のケーブル接続
- ④増設出力端子盤ユニット(RJB-3220)スピーカー回線の系統分け
- ⑤非常業務操作ユニット(REE-3520)でのプログラムの書込設定

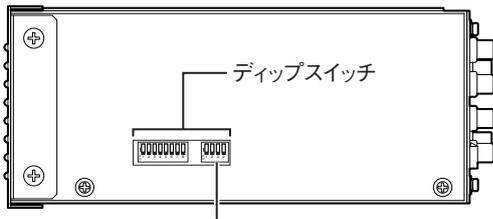
①ディップスイッチの設定変更



非常業務操作ユニット接続指定スイッチ

- 非常業務操作ユニットの入力番号を設定します。
- 非常業務操作ユニットを接続する場合のみ入力番号を指定し、接続しない場合は0と設定します。出荷時は1に設定されています。

入力番号	ディップスイッチの設定			
	アドレス：0	アドレス：1	アドレス：2	アドレス：3
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				

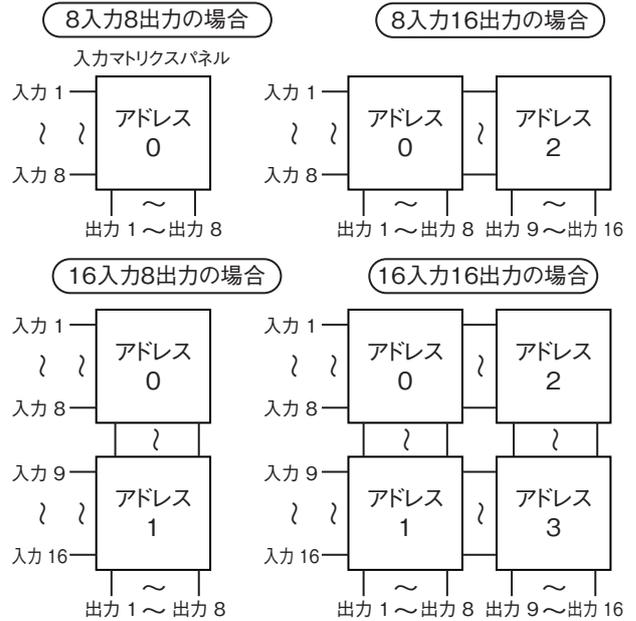


接続位置(アドレス)指定スイッチ

- 入力マトリクスユニットを2台または4台接続する場合は、アドレスの設定変更をします。(出荷時は「0」に設定) アドレスは、「アドレス説明図」をご参照ください。
- ※ 1台のときは、設定変更は不要です。(出荷時の設定のままご使用できます)

アドレス	ディップスイッチ (4接点) の設定	入出力条件
0		入力：1～8 出力：1～8
1		入力：9～16 出力：1～8
2		入力：1～8 出力：9～16
3		入力：9～16 出力：9～16

アドレス説明図



②ラックへの取付け

- ラックへ取り付けます。
- ラック形非常用放送設備 EL-3000シリーズ 工事説明書(本編)の「設置のしかた」をご覧ください。

ご注意

・本機の取付ピッチはEIA規格寸法となっていますので、JIS規格ラックへの取り付けはできません。

③各ユニット間のケーブル接続

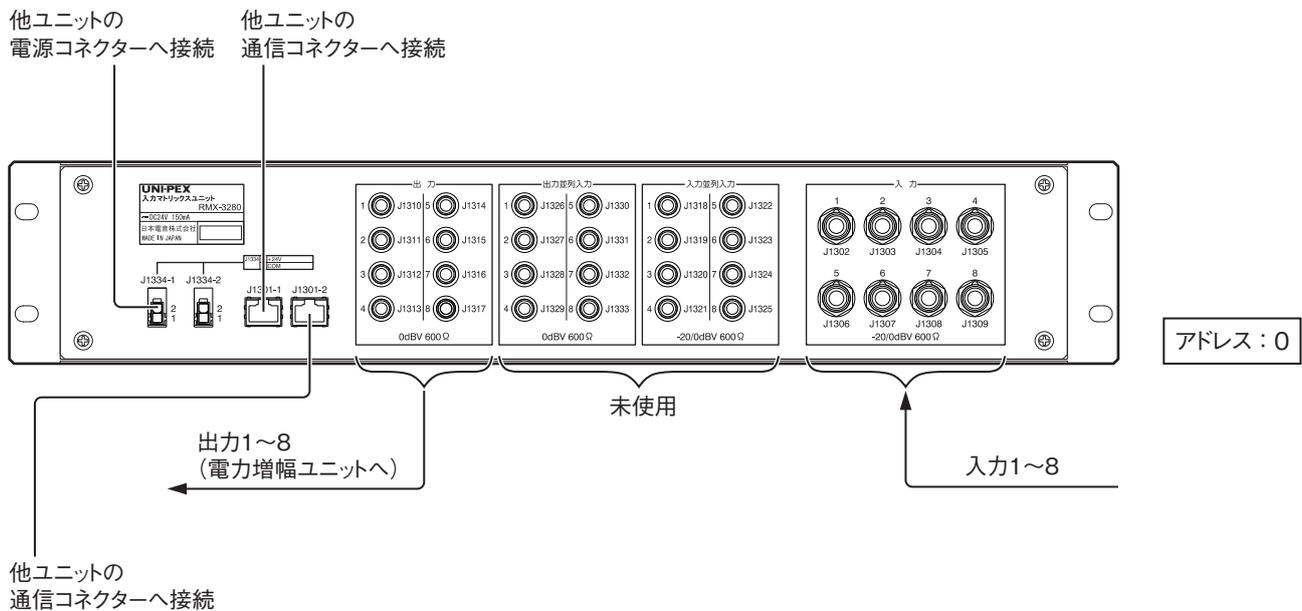
- 入力マトリクスユニット1台の場合は次の接続が必要です。
 - ・電源コネクタ : 他のユニットの電源出力コネクタと接続します。
 - ・通信コネクタ : 他のユニットの通信コネクタと接続します。
 - ・3極大形単頭プラグ付コード : 接続する機器の音声出力と接続します。
 - ・ピンプラグ付コード : 各出力系統の電力増幅ユニットの音声入力に接続します。
- 入力マトリクスユニットを2台または4台連結する場合は、次の接続も追加で必要になります。
 - ・ピンプラグ付コード : 各入力マトリクスユニット間を接続します。

ご注意

- ・音声入力、出力の接続プラグは付属していませんのでご用意願います。

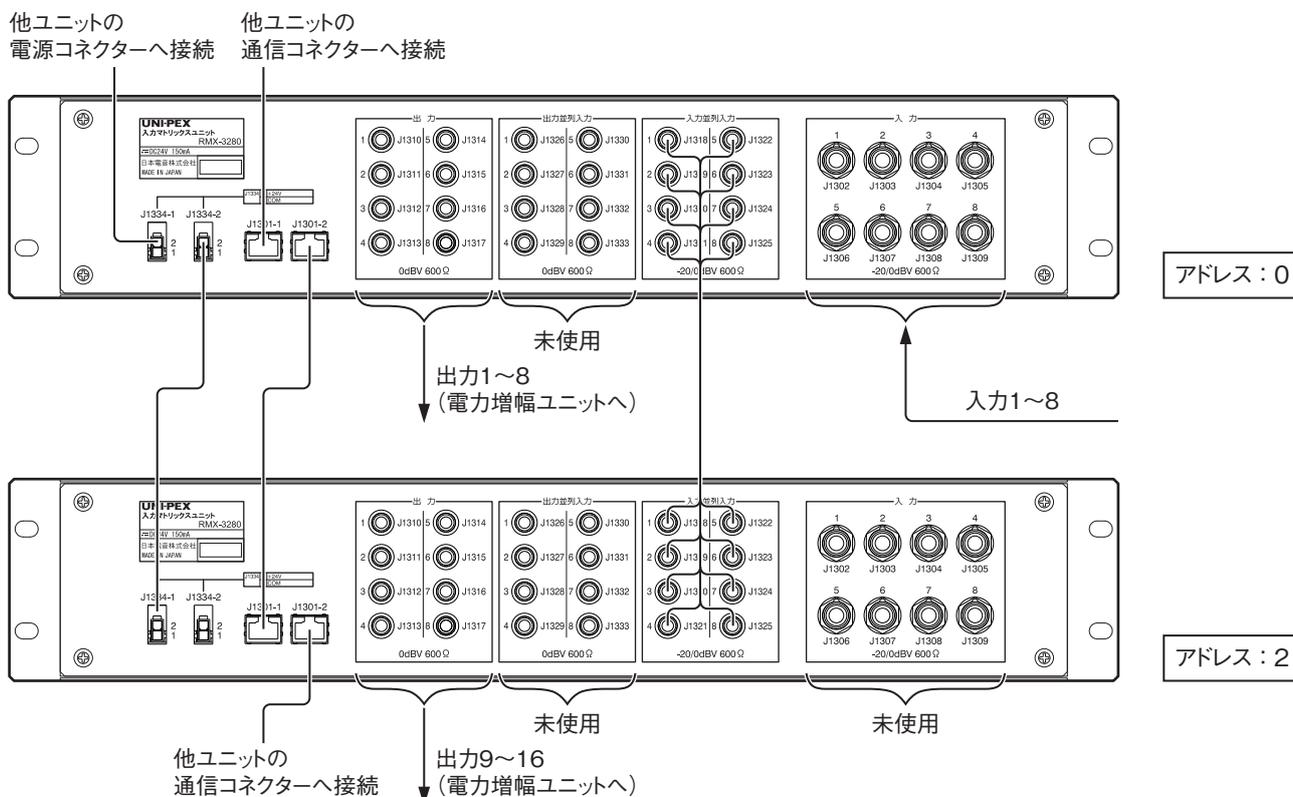
■入力マトリクスユニット1台(8入力 8出力)の場合

本機1台で、8入力 8出力以内で使用する場合は、下図のように接続します。



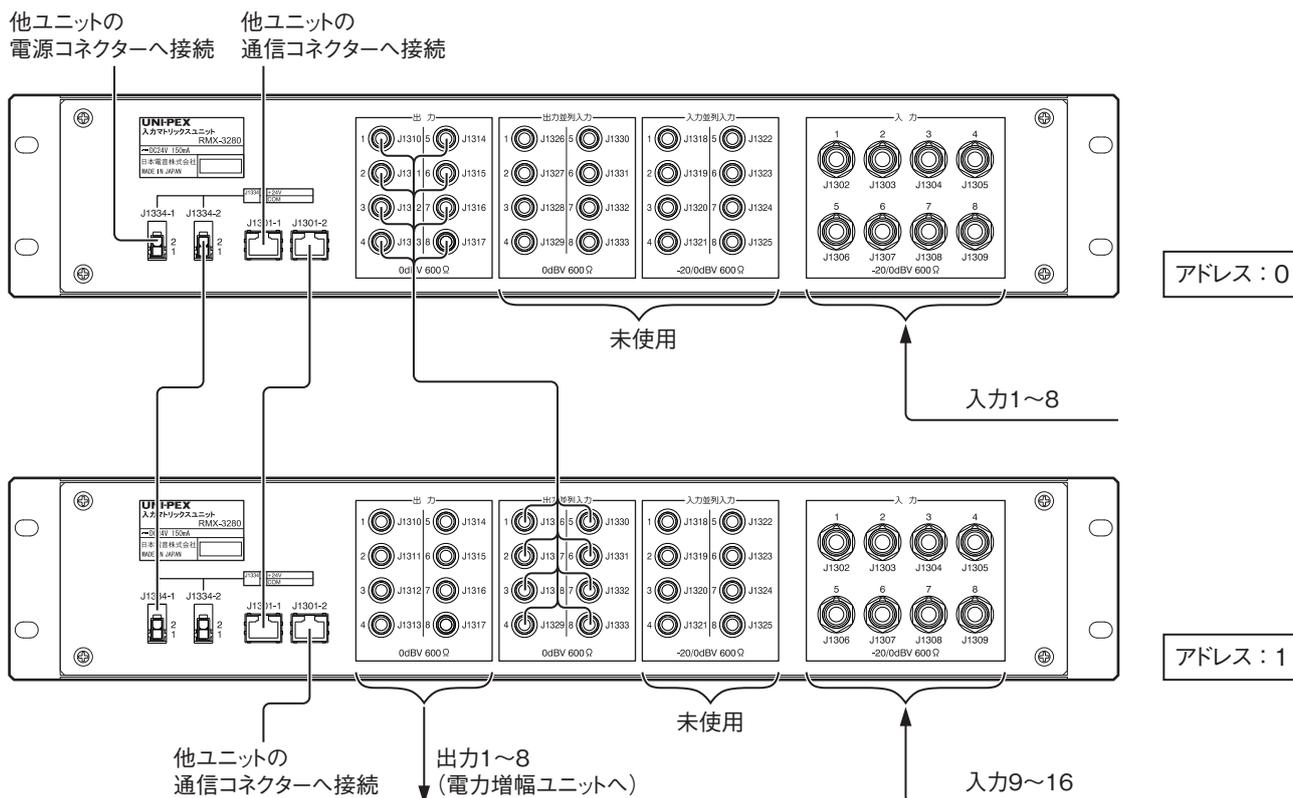
■ 入力マトリクスユニット2台(8入力 16出力)の場合

8入力 16出力まで拡張する場合は、本機を2台使用し、下図のように接続します。



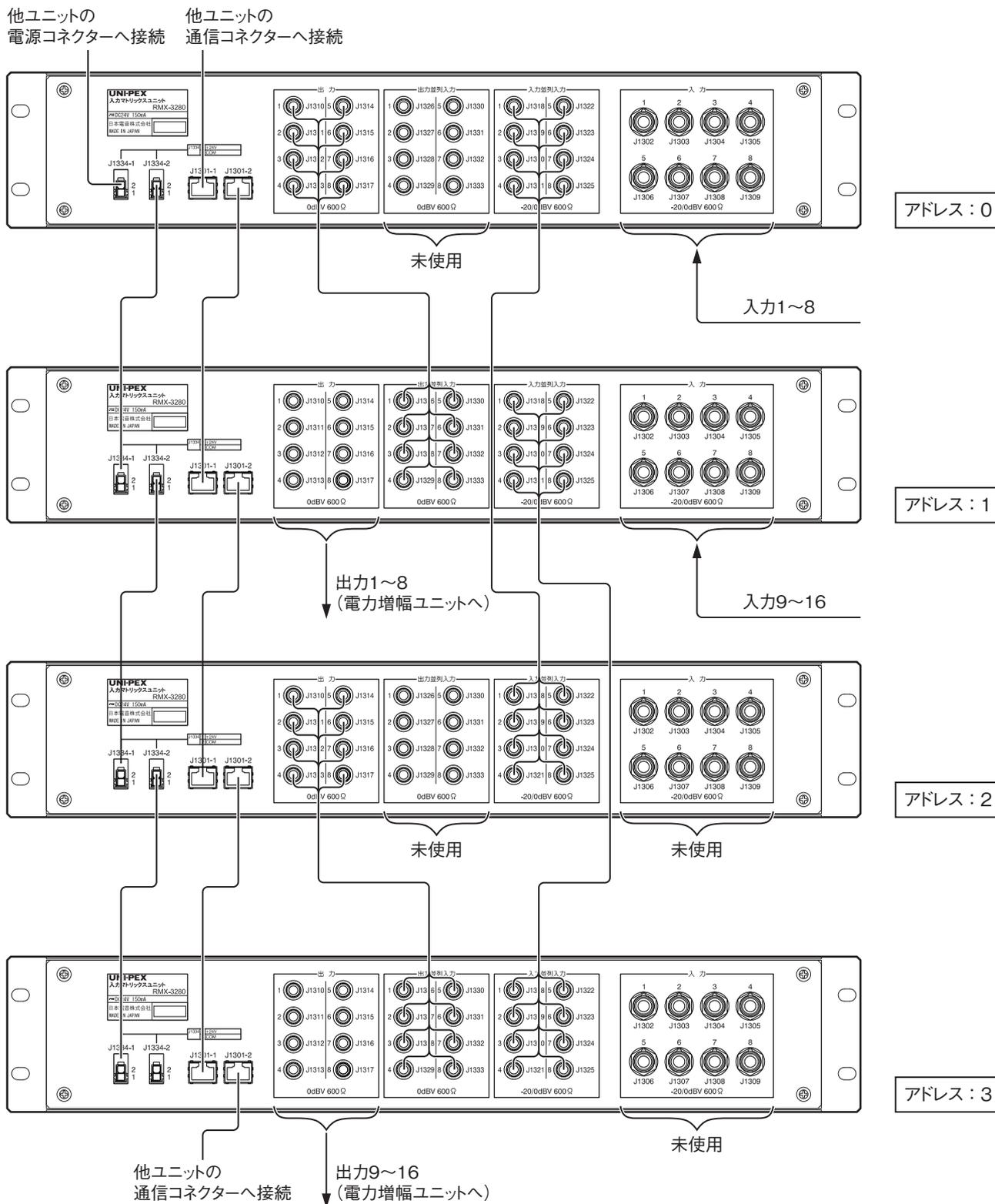
■ 入力マトリクスユニット2台(16入力 8出力)の場合

16入力 8出力まで拡張する場合は、本機を2台使用し、下図のように接続します。



■ 入力マトリクスユニット4台(16入力 16出力)の場合

16入力 16出力まで拡張する場合は、本機を4台使用し、下図のように接続します。



④ 増設出力端子盤ユニット(RJB-3220)のスピーカー回線の系統分け

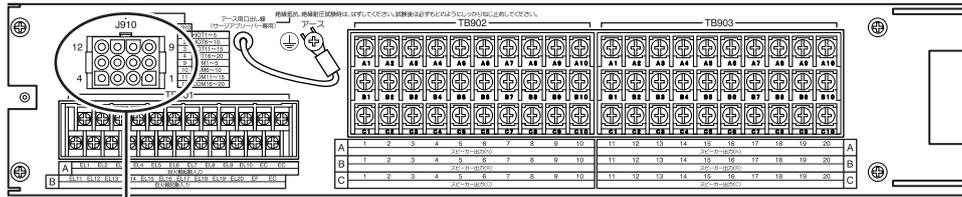
- 増設出力端子盤ユニット(RJB-3220)のスピーカー回線を放送系統毎に分割することができます。
- 増設出力端子盤ユニットの前面パネル内にあるコネクター(J910)のジャンパー線をカットすることにより、20回線の出力端子を5回線単位で系統分けすることができます。

ご注意

- ・ 1回線単位で系統分けすることも可能ですが、特注対応になりますので、弊社営業所までご連絡ください。
- ・ 分割した系統毎に電力増幅ユニットの出力を接続してください。(接続ケーブルは特注になります)

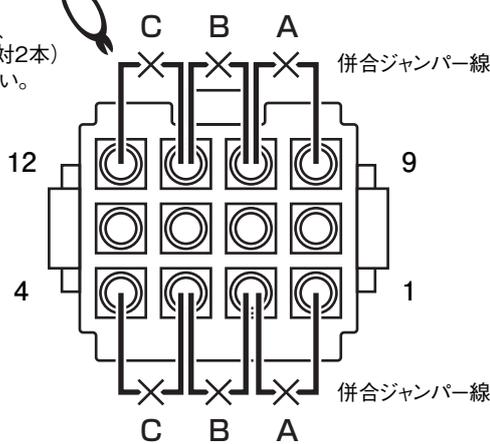
■ 増設出力端子盤ユニット RJB-3220

前面パネル内



コネクター(J910)

右の表を参照し、ジャンパー線(1対2本)をカットしてください。



併合ジャンパー			回線ブロック グループ分け			
A	B	C				
—	—	—	1~20			
カット	—	—	1~5	6~20		
—	カット	—	1~10	11~20		
カット	カット	—	1~5	6~10	11~20	
—	—	カット	1~15		16~20	
カット	—	カット	1~5	6~15		16~20
カット	カット	カット	1~5	6~10	11~15	16~20

⑤非常業務操作ユニット(REE-3520)でのプログラムの書込み設定

●入力マトリックスユニットを使用して多元放送をするときは、必ずプログラムの書込設定が必要になります。

(1)入力マトリックスユニットの設定

・入力マトリックスユニットの入出力構成を設定します。

①非常業務操作ユニットREE-3520のマイク扉内にある書込スイッチを押します。書込選択画面で、「1：システム設定」を選択し、確定スイッチを押します。



②「1：構成」を選択し、確定スイッチを押します。



③「1：システムのチェック」を選択し、確定スイッチを押します。



④システム構成の調査を開始します。



⑤↓キーまたは確定スイッチを数回押して、マトリックスユニットの構成台数およびアドレスが正しいことを確認します。



⑥最後に表示される保存画面で「1：する」を選択し、確定スイッチを押します。

<書込選択>

1:システム設定 2:総合点検 3:ログ
4:バックアップ 5:初期化 6:オプション
数字 ← →:選択 確定:次画面

<システム設定>

1:構成 2:システム 3:多元 4:地震
5:非常 6:業務 7:確認 8:時刻
数字 ← →:選択 確定:次画面

<システム構成>

1:システムのチェック 2:構成表示
数字 ← →:選択 確定:次画面

<システムチェック>

システムの構成を調査中です。

戻る:調査停止

<システム構成>

マトリックスユニット 2台
アドレス 1, 2

↑:前 ↓:次 確定:次画面

<システム構成>

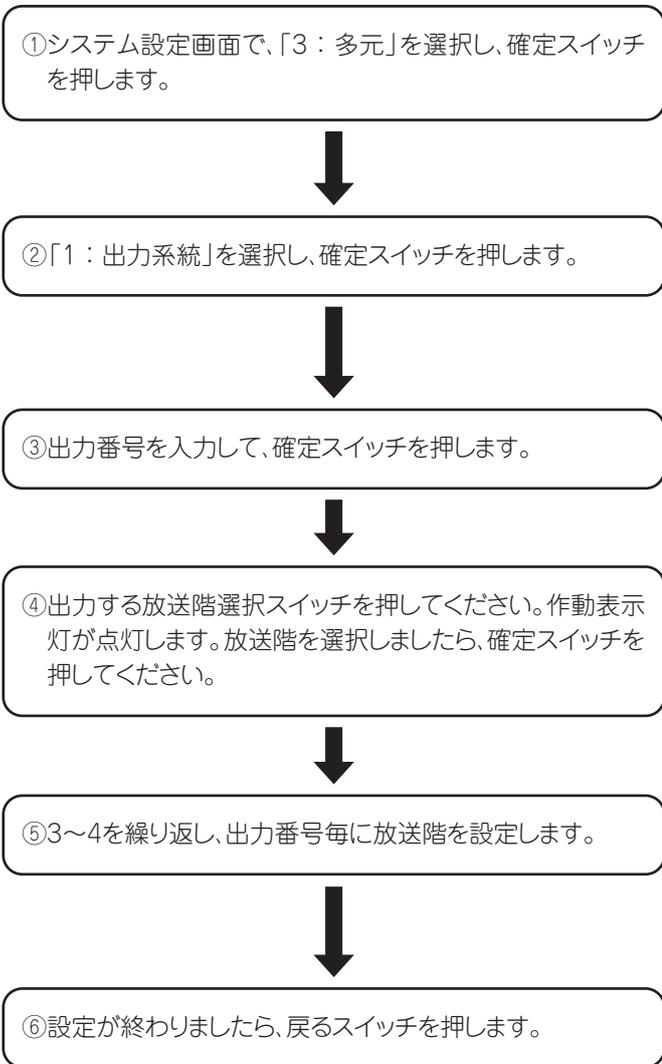
システムの構成を保存しますか?

1:する 2:しない

数字 ← →:選択 確定:次画面

(2) 出力系統の設定

・入力マトリックスユニットの出力系統の優先を設定します。



<システム設定>
1: 構成 2: システム **3: 多元** 4: 地震
5: 非常 6: 業務 7: 確認 8: 時刻
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

<多元>
1: 出力系統 2: 入力優先
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

<多元>
マトリックスユニットの
出力番号 **01**
数字 ↑ ↓: 入力 確定: 次画面

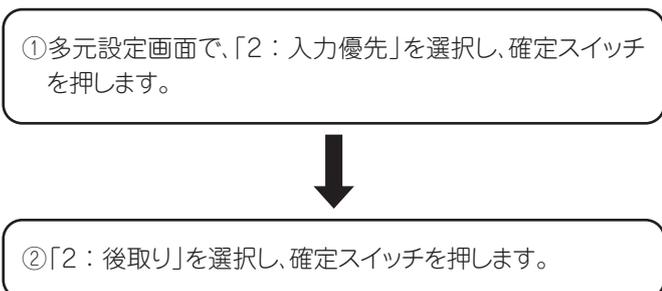
<多元>
出力番号 01
対応する放送階選択スイッチを押す。
確定: 次画面

<多元>
マトリックスユニットの
出力番号 **02**
数字 ↑ ↓: 入力 確定: 次画面

<多元>
1: 出力系統 2: 入力優先
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

(3) 優先順位の設定

・入力マトリックスユニットの各音声入力間の優先を、「入力回路順」(入力回路番号の小さい方が優先)から「後取り優先」に変更できます。



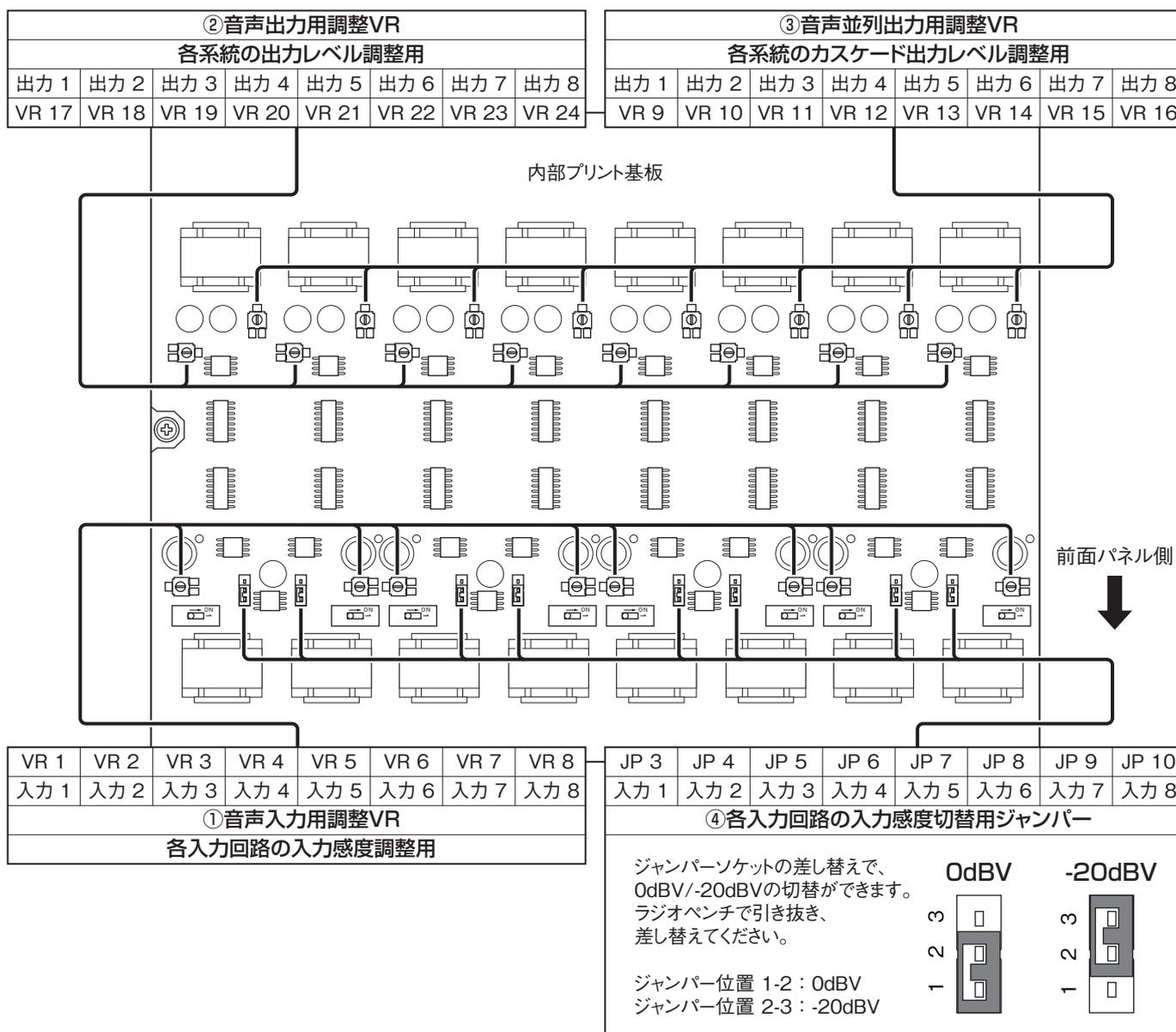
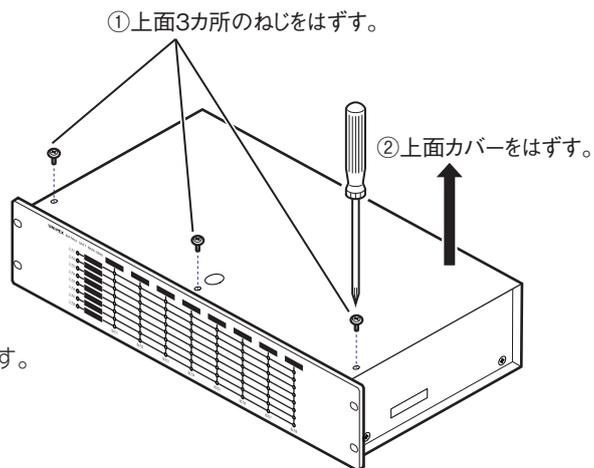
<多元>
1: 出力系統 **2: 入力優先**
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

<多元>
1: 入力回路順 **2: 後取り**
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

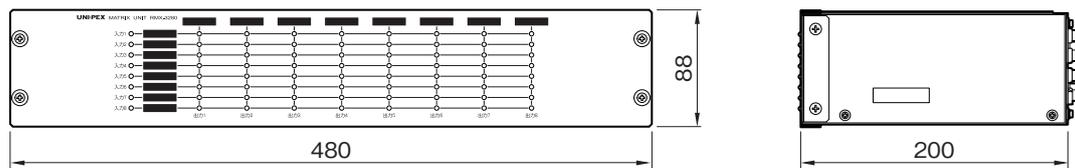
音声信号のレベル調整と感度切替のしかた

内部プリント基板で音声信号のレベル調整と感度切替ができます。
 上面カバーをはずして作業してください。

- 各入力回路の入力感度は、半固定ボリュームで微調整できます。
 (下記①印)
- 各系統の出力レベルを半固定ボリュームで調整できます。
 (下記②印)
- 各系統のカスケード出力のレベルを半固定ボリュームで調整できます。
 (下記③印)
- 各入力回路の入力感度(0dBV/-20dBV)をジャンパーで切替できます。
 (下記④印)



外觀寸法図 (単位: mm)



定 格

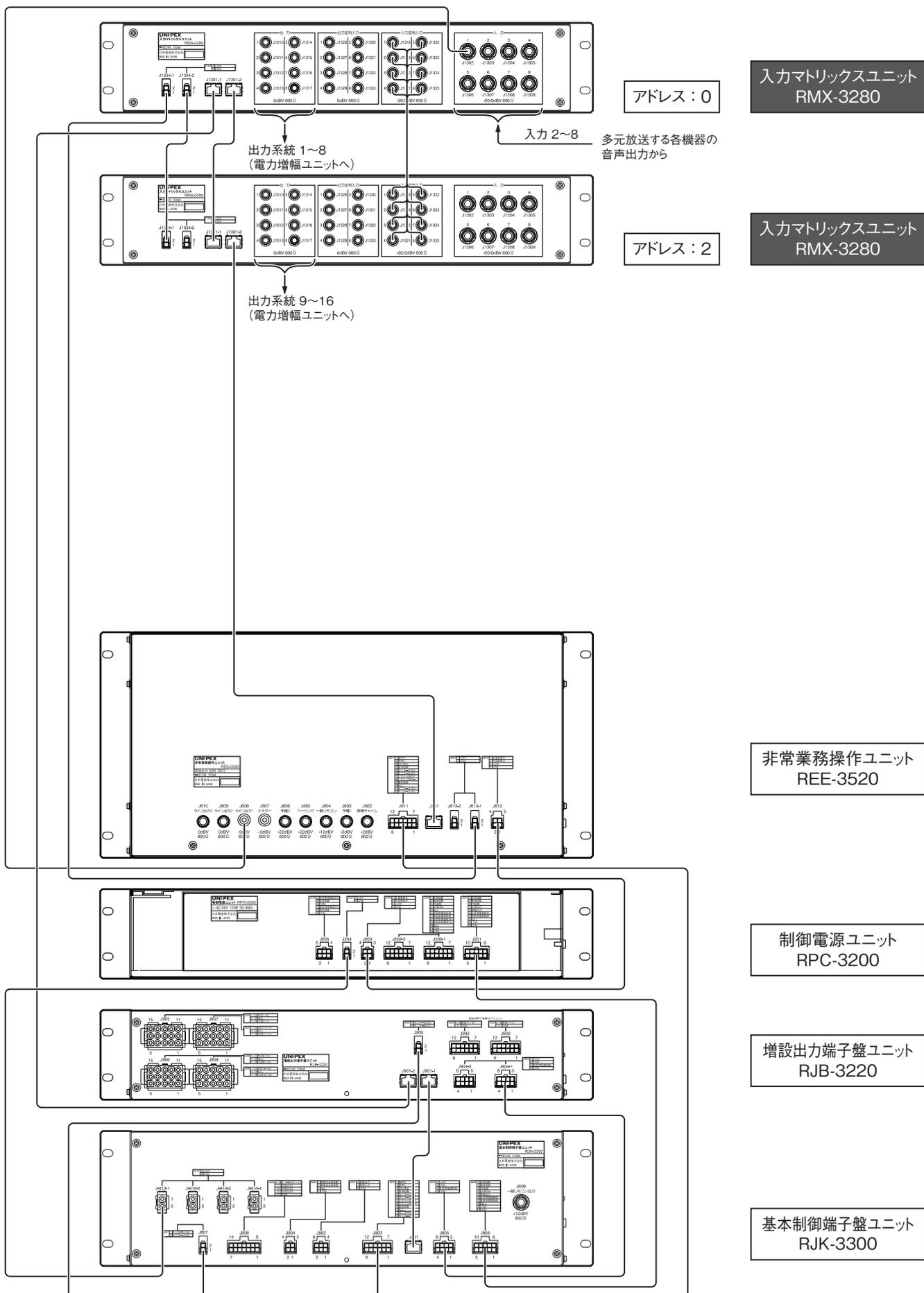
電 源	DC24V
消 費 電 流	150mA
入 力	0dBV/-20dBV 切換 600Ω 平衡 8回路 (3極大形単頭ピンジャック)
入 力 並 列 入 力	0dBV/-20dBV 切換 600Ω 平衡 8回路 (ピンジャック)
出 力	0dBV(内部VR付) 600Ω 平衡 8回路 (ピンジャック)
出 力 並 列 入 力	0dBV(内部VR付) 600Ω 不平衡 8回路 (ピンジャック)
表 示 灯	音声入力表示灯(緑)制御動作表示灯(緑)
仕 上 げ	パネル、ケース：マンセルN4.5 近似色グレー
寸 法	幅 480mm 高さ 88mm 奥行 200mm
質 量	3.7kg

■ 付属品

- 取扱説明書(保証書付) 1
- 通信ケーブル(モジュラータイプ 0.6m) 1
- DC電源ケーブル(2P-2P 1m) 1
- 3極大形単頭プラグ付コード(1m) 1
- アース線 1
- アース線止めねじ(M5×10) 1
- アース線止めねじ(M4×8) 1
- 飾りねじ(M5×9) 4
- 機器受金具 2
- 機器受金具止めねじ(M5×10) 4
- 機器受金具止めねじ(M4×8) 4

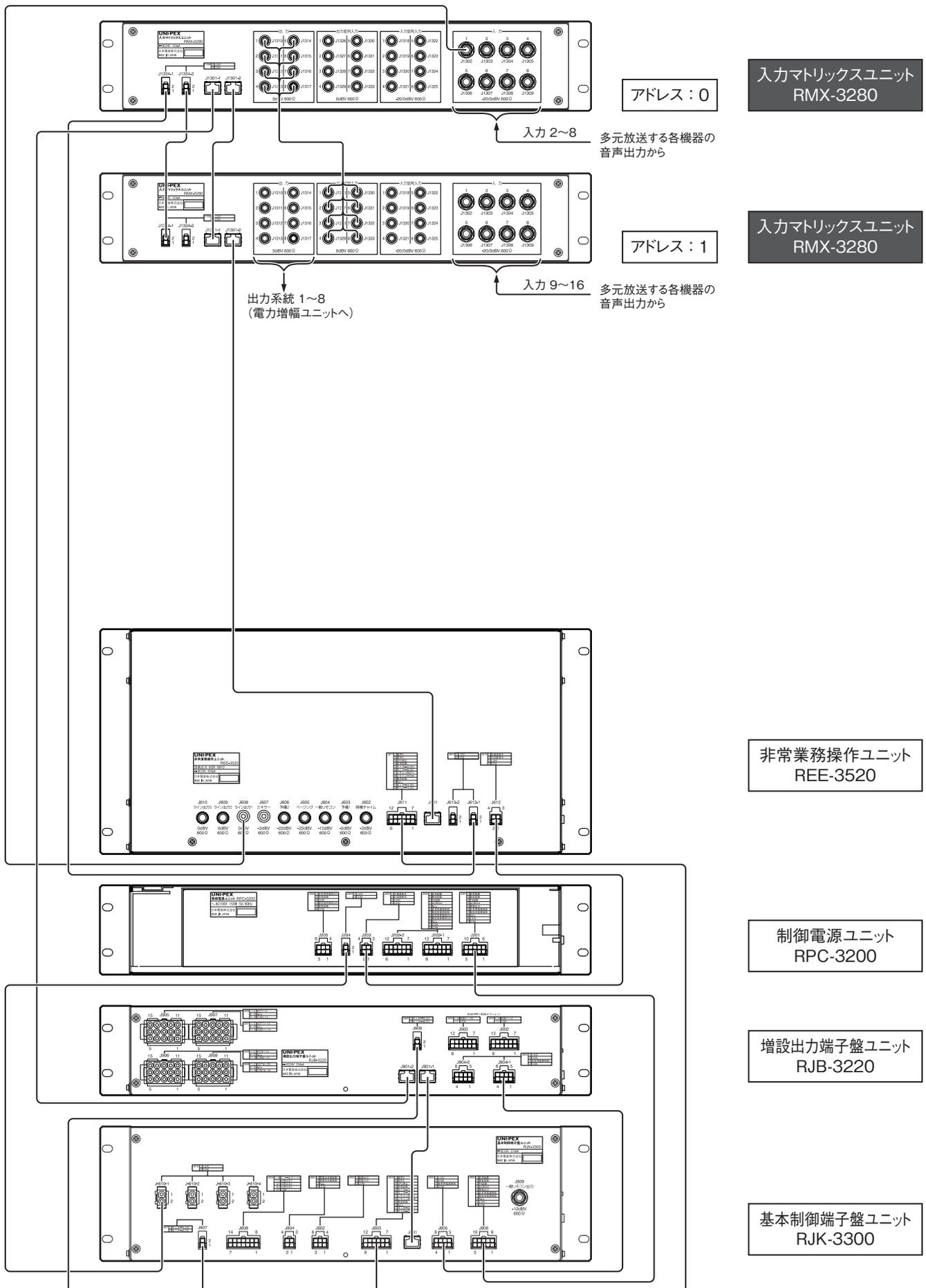
付 図(2)

■ 8入力 16出力時の各ユニット間の接続例



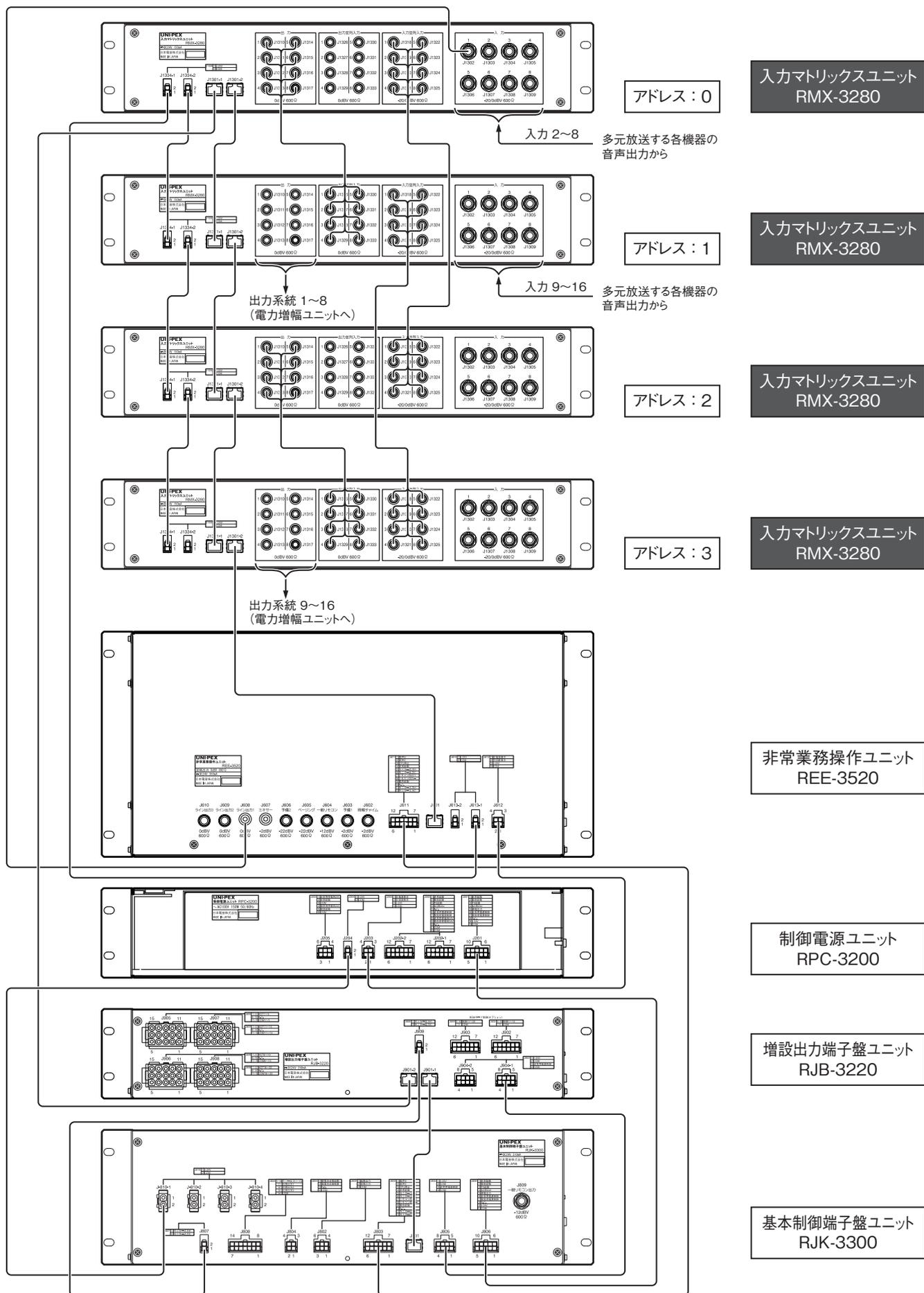
付 図(3)

■ 16入力 8出力時の各ユニット間の接続例



付 図(4)

■ 16入力 16出力時の各ユニット間の接続例



サポートのご案内

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

①品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

■ 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページ
もしくはQRコードにアクセス
してください。
<http://www.unipex.co.jp>



■ その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

UNI-PEX 0120-56-5245 （通話料無料）

お客様ご相談センター 受付時間／9:00～17:00（土・日・祝日除く）

PHS・携帯電話からのご利用は、
072-855-3334（通話料がかかります）

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

入力マトリックスユニット RMX-3280 保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部)6ヶ月
お客様	お名前 見本 様
	ご住所 電話() -
販売店	店名・住所 電話() - 印

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要な事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

(次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)

- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
- ②不当な修理改造による故障、損傷。
- ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
- ④お買い上げ後の落下、傷など、お取り扱い上に起因するもの。
- ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
- ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
- ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**

発売元 **ユニペックス株式会社**